



2024年度 入学試験要項

学校推薦型選抜

一般推薦入試

本学の建学の精神と基本理念、各学部・学科の教育研究上の目的及び3つのポリシーを理解し、本学の学習・教育環境を積極的に活用して、深い知識と幅広い領域の学修を志している意欲に燃えた学生を求めます。なお、各学部・学科が教育研究上の目的を達成するための基本とされる知識を有することが必要です。そのためには高等学校での基礎となる教科等の勉学を必要とし、積極的な学習姿勢を堅持していることが大切です。その上で、皆さんが本学での学生生活を十分理解し、明確な勉学目的と意思を持って入学されることを期待しています。

■建学の精神

「不言実行、あてになる人間」

■基本理念

中部大学は、建学の精神「不言実行、あてになる人間」を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成するとともに、優れた研究成果をあげ、保有する知的・物的資源を広く提供することにより、社会の発展に貢献します。

■学部教育の目的

本学の教育上の使命に沿い、それぞれの専門分野の基本的な考え方・知識・スキルとそれらを実社会で活用する能力、そして自ら学び続ける能力を身につけた、専門職業人／有識社会人となる人間を世に送り出します。

■3つのポリシー

各学科のディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP）は本学ウェブサイトで公表しています。

ディプロマ・ポリシー（DP）：卒業認定・学位授与に関する基本的な方針

カリキュラム・ポリシー（CP）：教育の実施に関する基本的な方針

アドミッション・ポリシー（AP）：DP・CPに沿った学生募集の方針

各学科における3つのポリシー

<https://www.chubu.ac.jp/about/facts-figures/study/3policy/>

■一般推薦入試

中部大学の一般推薦入試は学校長の推薦により、高等学校もしくは中等教育学校で修得した学業及び課外活動等の実績を基に評価し、自己の学修目的を認識し自己実現を図ろうとする意欲のある入学者を選抜する制度です。

■理工学部女子枠について

本学では学園ビジョンの一つに、女性活躍の推進、女性に配慮した環境整備の充実を掲げています。近年の社会的背景からも、女性ならではの視点、感覚で様々な課題を探し出し解決する「理工系女子」の育成は、本学に求められる役割の一つです。

データサイエンス、AI、ロボット、宇宙航空等の分野に強い関心と勉学の意欲を持つ女子生徒に対し、一般推薦入試において理工学部女子枠を設定することで、「理工系女子」を積極的に迎え入れ育成するとともに、多様な学生が集うことによる教育研究の相乗効果を期待しています。

国や地方自治体も「理工系女子」の活躍を推進しており、企業の採用においても大きな需要があります。

■入学試験要項について

中部大学入学試験の出願は、インターネットを利用します。この「入学試験要項」には、入試の概要と出願から入学手続までの事項を掲載しています。「入学試験要項」を熟読して内容を理解し、出願期間内に必要書類を送付してください。インターネット上での出願登録および入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。出願期間内に書類を送付しない場合や書類に不備がある場合、出願は無効となります。詳細は 7 インターネット出願を確認してください。また、入試等についてのお問い合わせは、やむを得ない場合を除き志願者本人が行ってください。

■個人情報の取扱いについて

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、

(1)入試の実施（出願処理・試験の実施等）

(2)入学手続

とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。

なお、本学は、上記利用目的のため、その業務の一部を本学が定める個人情報取扱の基準を満たす業者（以下、「委託業者」という）において行います。業務を委託するに当たり、委託業者に対して委託業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。提供に際しては、委託業者に対しても、契約により適切な管理を義務付けています。予めご了承ください。

氏名・住所・電話番号等は悪用されてはならない大切な個人情報です。これらを漏洩した結果、後日執拗につきまわられたり、思わぬ深刻な事態に巻き込まれたりすることがあります。自分や友人の個人情報は安易に他人に教えないようにしてください。**中部大学では、問い合わせがあっても志願者の住所・電話番号等は教えません。**また、試験当日、試験会場及び駅周辺で合否連絡などを口実に、個人情報を記入させ、その場で連絡料などと称して金銭を支払わせていることがあります。中部大学とは一切関係がありません。十分注意してください。

中部大学の合否発表は、インターネットを利用して行います。

■不測の事態が発生した場合について

災害等不測の事態が発生したことにより、入試の実施等に支障が生じた場合は、本学ウェブサイトまたは「[CUhub](#)」[マイページ](#)で周知しますので注意してください。

入試に関するお問合せ先

中部大学入学センター TEL (0120) 873-941

○午前9時～午後5時（平日のみ）

「CUhub」マイページの操作に関するお問い合わせ先

サポート窓口 TEL (0120) 752-257

○期間 出願期間中

○時間 午前9時～午後8時

出願書類の不備等に関する連絡先

※出願書類に不備のあった方に本電話番号より連絡します。

中部大学入学願書受付センター TEL 0568-22-7220、0568-22-7223、0568-22-7244

○期間 出願期間中

○時間 午前9時～午後5時（平日のみ）

入試当日のお問い合わせ先

中部大学代表電話 TEL (0568) 51-1111

I N D E X

■ 出願の前に

1. 募集人員	5
2. 入試日程および時間割	6
3. 出願資格	7
4. 選抜方法	7

■ 出願方法

5. 出願書類	9
6. CUhub（シーユーハブ）マイページ	11
7. インターネット出願	13
8. 出願上の注意	14
9. 受験上の配慮申請について	15

■ 試験／合格発表／入学手続

10. 受験票	16
11. 試験当日の注意	17
12. 試験会場	18
13. 合格発表	20
14. 入学手続	20

■ 学費／アドミッション・ポリシー

15. 2024年度入学者学費等	21
16. アドミッション・ポリシー	22
17. 入学検定料の返還	32
18. 入試における学力の3要素	32
志願受付確認票	

1. 募集人員 本学の他の学校推薦型選抜、同窓生推薦入試との併願は不可

学部	学科	一般推薦		定員	ポートフォリオ	特別奨学生	学校推薦型選抜計	前期A方式 3教科	前期B方式 高得点 2教科	共通テスト プラス 方式	前期 AM方式 高得点 3教科	前期 BM方式 高得点 2教科	後期	共通テスト利用前期			共通テスト利用後期			
		専願	併願可											2教科	3教科	5教科	2教科	3教科	5教科	
工	機械工学科	4	7	160	7	6	49	33	27	4	15	10	3	2	2	2	若干名			
	都市建設工学科	2	3	80	3	3	32	15	6	2	5	5	3	2	2	2	若干名			
	建築学科	3	4	110	7	4	43	21	8	4	7	7	3	2	2	2	若干名			
	応用化学科	2	3	90	3	3	32	18	12	3	5	5	3	2	2	2	若干名			
	情報工学科	3	6	120	4	4	40	24	19	4	8	8	3	2	2	2	若干名			
	電気電子システム工学科	4	7	160	7	6	49	33	27	4	15	10	3	2	2	2	若干名			
	計	18	30	720	31	26	245	144	99	21	55	45	18	12	12	12	若干名			
経営情報	経営総合学科	8	25	300	15	17	120	57	33	8	22	17	5	2	2	2	若干名			
	計	8	25	300	15	17	120	57	33	8	22	17	5	2	2	2	若干名			
国際関係	国際学科	5	19	140	19	8	51	24	8	5	8	8	3	2	2	2	若干名			
	計	5	19	140	19	8	51	24	8	5	8	8	3	2	2	2	若干名			
人文	日本語日本文化学科	2	6	80	7	2	25	15	8	4	5	5	3	2	2	2	若干名			
	英語英米文化学科	2	6	70	12	2	25	12	3	2	3	3	2	2	2	2	若干名			
	心理学科	2	6	90	7	2	33	18	7	4	5	5	3	2	2	2	若干名			
	歴史地理学科	2	6	90	7	2	33	18	7	4	5	5	3	2	2	2	若干名			
	メディア情報社会学科	2	6	70	7	2	25	12	3	2	5	5	3	2	2	2	若干名			
	計	10	30	400	40	10	141	75	28	16	23	23	14	10	10	10	若干名			
応用生物	応用生物化学科	2	3	110	5	3	37	21	12	4	10	10	2	2	2	2	若干名			
	環境生物科学科	2	3	110	5	3	37	21	12	4	10	10	2	2	2	2	若干名			
	食品栄養科学科	食品栄養科学専攻	2	3	60	3	3	26	9	5	3	3	3	2	1	1	1	若干名		
		管理栄養科学専攻	2	3	80	3	3	22	15	16	4	5	5	2	2	2	1	若干名		
	計	8	12	360	16	12	122	66	45	15	28	28	8	7	7	6	若干名			
生命健康科	生命医科学科	2	3	60	3	3	26	9	4	4	3	3	2	1	1	1	若干名			
	保健看護学科	2	3	100	5	3	41	18	7	4	7	7	2	2	2	2	若干名			
	理学療法学科	2	1	40	2	3	13	6	3	3	3	2	2	1	1	1	若干名			
	作業療法学科	2	2	40	3	2	14	6	3	3	2	2	2	1	1	1	若干名			
	臨床工学科	2	3	40	3	2	11	6	3	4	3	3	2	1	1	1	若干名			
	スポーツ保健医療学科	2	3	80	5	3	33	12	5	4	5	5	2	2	2	2	若干名			
	計	12	15	360	21	16	138	57	25	22	23	22	12	8	8	8	若干名			
現代教育	幼児教育学科	2	3	80	2	2	32	15	11	4	4	5	2	1	1	1	若干名			
	現代教育学科	現代教育専攻	1	1	60	1	2	20	12	10	4	3	3	2	1	1	1	若干名		
		中等教育国語数学専攻	--	--	20	1	2	2	3	2	2	2	2	1	1	1	1	若干名		
計	3	4	160	4	6	54	30	23	10	9	10	5	3	3	3	若干名				
理工	数理・物理サイエンス学科	2	4[2]	40	2	2	8	9	6	2	3	3	2	1	1	1	若干名			
	AIロボティクス学科	2	4[2]	80	3	3	23	15	12	4	7	7	3	1	1	1	若干名			
	宇宙航空学科	2	4[2]	80	3	6	23	15	9	4	6	5	3	2	2	2	若干名			
	計	6	12	200	8	11	54	39	27	10	16	15	8	4	4	4	若干名			
合計		70	147	2,640	154	106	925	492	288	107	184	168	73	48	48	47	若干名			

注1 学校推薦型選抜の募集人員は、指定校・併設校・特技・一般推薦入試の合計数。

注2 一般推薦入試では現代教育学科 中等教育国語数学専攻の募集はありません。

注3 理工学部女子枠 [] は内数。

2.入試日程および時間割

出願期間（最終日消印有効）	受験票発行開始	試験日	会場	合否発表
2023年11月1日(水) ↓ 2023年11月4日(土) ※出願登録は10月13日(金)午前9時から 最終日午後5時まで	2023年11月13日(月) 午前9時	2023年11月18日(土)	本学	2023年12月1日(金) 午前11時

〔注意〕

- 最終日翌日の午前9時30分～正午に限り、中部大学入学センター窓口で出願書類を受理します。ただし、最終日翌日が土・日・祝日の場合は、翌平日午前9時30分～正午に受理します。なお、最終日翌日には新規の出願登録は受け付けません。
- 出願・受験・合否・手続システム「CUhub」のアカウント作成は出願期間外でも可能です。出願登録は、10月13日(金)午前9時から11月4日(土)午後5時の間に行ってください。出願書類は出願期間最終日消印有効とします。出願期間中は24時間登録が可能です。
- 入学検定料納入期限は、出願登録を行った翌日の23時59分（最終日は当日の23時59分）までです。払込期限を過ぎると、出願内容が取り消されますのでご注意ください。
- 出願書類は、出願登録後可能な限り速やかに郵送してください。出願期間前日までに到着した出願書類は、11月1日以降随時開封し、内容確認しません（無効となりません）。

時間割

		9:40	10:00	11:45	12:25	13:10	13:20	13:30	14:15
午前	集合		面接	休憩	小論文 45分	休憩		適性検査 45分	終了
午後			集合						休憩
									面接

※終了時刻は予定

12:05 12:25 13:10 13:20 13:30 14:15 14:35

集合時間

●の時間帯に集合してください。午前は9:40、午後は12:05（入室は11:45以降）です。学科（専攻）により、集合時間が異なりますのでご注意ください。

学部	学科	午前	午後	学部	学科	午前	午後
工学部	機械工学科	●		生命健康科学部	生命医科学科	●	
	都市建設工学科		●		保健看護学科		●
	建築学科	●			理学療法学科	●	
	応用化学科	●			作業療法学科	●	
	情報工学科		●		臨床工学科		●
	電気電子システム工学科		●		スポーツ保健医療学科		●
経営情報学部	経営総合学科	●		現代教育学部	幼児教育学科		●
国際関係学部	国際学科		●		現代教育学科 現代教育専攻	●	
人文学部	日本語日本文化学科		●	現代教育学科 中等教育国語数学専攻	-	-	
	英語英米文化学科		●	理工学部	数理・物理サイエンス学科		●
	心理学科		●		A I ロボティクス学科		●
	歴史地理学科	●			宇宙航空学科	●	
	メディア情報社会学科	●					
応用生物学部	応用生物化学科		●				
	環境生物科学科	●					
	食品栄養科学科 食品栄養科学専攻	●					
	食品栄養科学科 管理栄養科学専攻		●				

3.出願資格

- A (専願) : 日本の高等学校もしくは中等教育学校を2024年3月31日までに卒業見込みの者(※)で、本学を専願し全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上で、学校長が推薦する者
- B (併願可) : 日本の高等学校もしくは中等教育学校を2024年3月31日までに卒業見込みの者(※)で、学校長が推薦する者
※文部科学省が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者も含む

4.選抜方法

書類審査(活動評価書)および面接(調査書、志望理由書の内容を含む)、適性検査(国語・数学・英語から学科指定の1教科)、小論文(600字程度)で行う。

No	選抜方法	配点	備考
1	面接・書類審査	30点	約6分、個人面接※ 調査書、志望理由書の内容を含む
2	適性検査	30点	国語・数学・英語から学科が指定する1教科・45分
3	小論文	30点	600字程度・45分
4	活動評価	10点	活動評価書の該当項目数により点数化 1項目3点、2項目6点、3項目8点、4~5項目10点

※志願者数等によりグループ面接となる場合があります。

適性検査 学科指定教科

学部	学科・専攻	教科	学部	学科・専攻	教科
工学部	機械工学科	数学	生命健康科学部	生命医科学科	数学
	都市建設工学科	数学		保健看護学科	国語
	建築学科	国語		理学療法学科	国語
	応用化学科	数学		作業療法学科	国語
	情報工学科	数学		臨床工学科	数学
電気電子システム工学科	数学	スポーツ保健医療学科		国語	
経営情報学部	経営総合学科	国語	現代教育学部	幼児教育学科	国語
国際関係学部	国際学科	英語		現代教育学科 現代教育専攻	英語
人文学部	日本語日本文化学科	国語		現代教育学科 中等教育国語数学専攻	—
	英語英米文化学科	英語	理工学部	数理・物理サイエンス学科	数学
	心理学科	国語		AIロボティクス学科	数学
	歴史地理学科	国語		宇宙航空学科	数学
	応用生物学部	メディア情報社会学科	国語	応用生物化学科	数学
環境生物科学科		数学	食品栄養科学科 食品栄養科学専攻	国語	
食品栄養科学科		国語	食品栄養科学科 管理栄養科学専攻	国語	
食品栄養科学科 管理栄養科学専攻		国語			

適性検査の出題科目と出題形式

適性検査の出題科目と出題形式は以下のとおりです。なお、解答方式は全問マークセンス方式です。

教科	科目	出題形式
国語	「国語総合(古文・漢文を除く)」	漢字、語彙(慣用句・四字熟語等)、短文理解、長文読解(論理的文章)他
数学	「数学Ⅰ・数学A」	因数分解、三角比、二次方程式、一次不等式、集合、命題、二次関数他
英語	「コミュニケーション英語Ⅰ」	短文空欄補充(語彙・熟語・前置詞・文法)、会話文空欄補充、発音、アクセント、語順整序、中程度の長さの文章読解他

活動評価項目

該当項目数に応じて点数化します。出願資格ではありませんので該当なしでも出願可能です。ただし、**該当がない場合も「該当なし」にチェックを入れ、活動評価書を提出してください。**

1. 積極的な学習姿勢を堅持し、学習成績概評がA段階（全体の学習成績の状況 4.3 以上）の者
2. 高等学校または中等教育学校において以下に該当する者
 - ① 生徒会会長を務め、リーダーシップを発揮した者
 - ② 生徒会副会長を務め、リーダーシップを発揮した者
 - ③ 体育祭実行委員長を務め、リーダーシップを発揮した者
 - ④ 文化祭実行委員長を務め、リーダーシップを発揮した者
3. 高等学校在学中に体育活動・文化活動において以下の条件を達成した者
 - ① 体育活動で都道府県レベル以上の公式大会※において選手として出場し、ベスト 8 以上の成績を収めた者
※新人戦を除く
 - ② 文化活動で都道府県レベル以上のコンクール、コンテスト、展覧会などにおいて入賞した者
4. 出願時点で以下の資格を有する者
 - ① 日本英語検定協会 実用英語技能検定 2 級以上
 - ② Educational Testing Service TOEFL iBT® 42 点以上
 - ③ 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC® Listening & Reading 550 点以上
 - ④ ベネッセコーポレーション GTEC (4 技能版) 960 点以上 ※オフィシャルスコアに限る。
 - ⑤ 日本漢字能力検定協会 日本漢字能力検定 2 級以上
 - ⑥ 日本語検定委員会 日本語検定 3 級以上 ※ただし準認定は除く。
 - ⑦ 情報処理推進機構 基本情報技術者試験
 - ⑧ 情報処理推進機構 IT パスポート
 - ⑨ 日本商工会議所 日商簿記検定 2 級以上
 - ⑩ 日本数学検定協会 実用数学技能検定 2 級以上
 - ⑪ 全国商業高等学校協会 情報処理検定 1 級（ビジネス情報部門またはプログラミング部門）
5. 外国の高等学校に半年以上の留学経験がある者
※調査書に国名・学校名・期間（○年○月～○年○月）を明記すること。

注意

虚偽または該当しない申請があった場合、入学後でも合格を取り消すことがあります。基準に満たない申請についても同様です。

5. 出願書類

1. 出願確認票

本学ウェブサイトから「インターネット出願ガイダンス」へ進み、「CUhub」マイページのアカウントを作成します。「STEP 3 出願登録」から画面の指示に従って入力後、「STEP 4 出願確認票の出力」からプリントアウトし、提出してください。

2. 写真データ

「STEP 2 基本情報の登録」から画面の指示に従って本人写真データをアップロードしてください。出願時に登録したデータは入学後の学生証写真としても使用しますので、必ず私服で撮影してください（高等学校等の制服で撮影されたものは使用できませんので、あらためて撮影してください）。「背景の写り込み」「トリミングの不備」「手振れによる不鮮明」など、受験票および入学後の学生証の写真として利用できないと判断した場合も再撮影、再アップロードをお願いしております。写真店や写真データ取得機能付きの証明写真機、証明写真アプリ等の利用を推奨いたします。

3. 調査書

学校長が出願前3カ月以内に作成し、厳封されたものを提出してください。

学校関係者のみなさまへ

調査書の作成に際し、下記のとおりお願い申し上げます。

1. 厳封された調査書であること。
2. 出願期間初日から3カ月以内の発行日付があること。
3. 卒業（見込み）年月の記載があること（例：20XX年3月卒業見込み）。
4. 証明の欄に校長印・記載責任者印があるもの。
記載責任者氏名は、実際に調査書を作成するにあたって記載した学級担任等の氏名を記載してください。
5. 高等学校全期間の成績が記載されたもの。
卒業見込み者は第3学年1学期または前期までの成績が記載されたもの（出願時に最新のもの）。
第3学年1学期または前期までの成績が出せない場合は履修中科目を記入してください。
①3学期制：第2学年3学期までの成績と第3学年の履修科目(注)が記載されたもの。
②2学期制：第2学年後期までの成績と第3学年の履修科目(注)が記載されたもの。
(注) 第3学年の履修科目の記入例

第3学年の成績記入欄に「*」等の記号を付した上、備考欄に「第3学年1学期または前期までの成績が出せないため、第3学年の履修科目に「*」を記載済み」といった一文を記入してください（手書き可）。「*」等の記号を付けられない場合、第3学年の履修科目を記入した別紙を添付してください。

日本国内で2つ以上の高校に在籍していた場合

調査書に加え、前籍校の証明書を以下1～3いずれかの方法で提出してください。

1. 厳封された前籍校の調査書(または成績証明書※)を提出
2. 編入・転入した高校が保管する前籍校の成績証明書のコピーに、学校長の署名と公印で原本と相違ないことの証明を受け添付
3. 編入・転入前の成績を転記した場合は、調査書に「前籍校の在籍期間」「〇〇高校からの転記」と明記
※在籍期間が短く調査書や成績証明書が発行されない場合は、その旨を記した高校作成のメモと「在籍／在学証明書」を提出してください。

海外の高校から編入・転入した場合や、海外留学により単位認定を受けた場合

編入前に在籍していた高等学校や留学先の高等学校の発行する「成績証明書」を必ず調査書に添付してください（あわせて、「成績証明書」の日本語による翻訳も添付してください）。証明書がコピーの場合には、学校長の署名、公印で原本と相違ないことの証明を受けてください（ただし、成績を読み替えた場合は、前籍校／留学先の成績証明書は不要です）。単位認定を受けない海外留学の場合も提出不要です。

4. 推薦書 (A4)

所定の様式を本学ウェブサイトからダウンロード・プリントアウトし、学校長・記載責任者の記入・証明を受け、厳封したものを提出してください。様式のウェブサイトへの掲載は9月上旬を予定しています。

学校関係者のみなさまへ

推薦理由の記入に際しては、本人の学習歴や活動歴を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価も含めてください。推薦書は指定様式（PDFファイル）を本学ウェブサイトからダウンロード後、PC等で入力したものをプリントアウトし、提出いただいても構いません。なお、PCでの入力にはAdobe Acrobat Readerを推奨します。

5. 活動評価書 (A4)

所定の様式を本学ウェブサイトからダウンロード・プリントアウトし本人記入後、記載責任者の記入・証明を受け、厳封したものを提出してください。該当項目がない方も提出します。様式のウェブサイトへの掲載は9月上旬を予定しています。

活動評価書の記入・提出について

活動評価書記載の資格・活動実績に該当しない者は、【6.該当なし】にチェックを入れ、提出してください（記載責任者の証明は不要です）。該当する資格・活動実績がある者は、チェックを入れるとともに証明する書類の欄に○印を入れ、裏面に証明書（コピー可）をのり付けし、記載責任者（学校担任等）の証明を受け、推薦書とともに厳封したものを提出してください。高等学校または中等教育学校が証明するものは記載責任者を通じ、調査書に明記してください。調査書に記載があるものについて、証明書の添付は必要ありません。

体育・文化活動評価対象の大会について

高等学校（中等教育学校は後期課程）の当該公認部活動団体に所属し、高等学校（中等教育学校は後期課程）在学中に収めた成績が評価対象となります。部活動の活動評価【コード3】を申請する者は、高等学校（中等教育学校は後期課程）の公認部活動団体に2年以上所属した場合に限ります。また、高等学校（中等教育学校は後期課程）の公認部活動団体とは、課外活動での公認部活動団体をいいます。

1. 体育活動の評価対象となる大会

- ① 全国高等学校総合体育大会およびその都道府県（予選）大会
- ② 定時制・通信制高等学校の全国大会、地区大会およびその都道府県（予選）大会
- ③ 国民体育大会およびその都道府県（予選）大会
- ④ 各種目協会または体育協会主催による全国大会、地区大会および都道府県大会（各種目協会・体育協会が後援している大会で全国大会、地区大会および都道府県大会に準ずると認められるものを含みます）。
- ⑤ 上記①～④の大会において、「〇〇県高等学校選抜チーム」のように複数校の生徒から構成されている混成チームがしかるべき成績を収めた場合も評価対象とします。

2. 文化活動の評価対象となる大会

国、都道府県、政令指定都市あるいは都道府県教育委員会、政令指定都市教育委員会が後援する全国大会、地区大会および都道府県大会とします。

3. 体育活動・文化活動の評価対象とならない大会

- ① 新人大会（1年生のみで実施された大会）および都道府県市町村民体育大会は、評価の対象となりません。ただし、都道府県民体育大会で高等学校の部として独立し、なおかつそれが国民体育大会あるいは地区大会（東海地区大会等）の予選を兼ねる場合は評価の対象となります（その旨を注記してください）。
- ② 〇〇県私立学校大会のように、都道府県内の特定の高等学校のみを対象とする大会および企業や特定の団体、流派等が主催する大会で前記の1.④の大会と認められないものは、その規模にかかわらず評価の対象となりません。
- ③ 全国高等学校総合文化祭およびその地区大会、都道府県大会は評価の対象となりません。

6. 志望理由書（A4）

所定の様式を本学ウェブサイトからダウンロードし、本人入力または記入（手書き可）後、提出してください。様式のウェブサイトへの掲載は9月上旬を予定しています。なお、PCでの入力にはAdobe Acrobat Readerを推奨します。スマートフォン・タブレットでの入力には最適化されていません。入力できない場合は、無理せず手書きで提出してください。

入学検定料

入学検定料 35,000円 納入期限 2023年11月4日（土）

※別途インターネット出願に関するサービス利用料がかかります。

いったん納入された入学検定料及び出願書類は、返還いたしません。ただし、入学検定料は事由によって返還する場合があります。詳細は17 入学検定料の返還を参照してください。

出願書類の確認について

書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。電話番号 0568-22-7220、0568-22-7223、0568-22-7244 からの着信を見逃さないようにしてください。確認・連絡ができない場合、受験できない可能性があります。

6.CUhub (シーユーハブ) マイページ

アカウント作成

1. 「ガイダンスページ」へアクセスし、画面右上「マイページ」に進みます。
URL : <https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu>

ガイダンスページ



2. 「マイページを初めてご登録の方」へ進みます。

①メールアドレスを入力。

②1~2分後に届く確認メール※に記載のURLをクリック。

※上記のメールアドレスに利用者登録を完了させるメールを配信しますので、ドメイン指定受信を設定されている方は [@52school.com] を受信できるように事前に設定してください。メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダ内に振り分けられていないか確認してください。

③パスワードを設定します。

④再度マイページ TOP 画面に戻り、作成したアカウント (メールアドレス・パスワード) でログインしてください。

※アカウント情報 (メールアドレス・パスワード) を忘れないようにしてください。

マイページ TOP

CUhub
CUhub
CUhub

マイページログイン

マイページログイン

ログイン

メールアドレス、パスワードを入力してください。
1つのメールアドレスで複数人のご利用はできません。

メールアドレス

パスワード

ログイン

マイページを初めてご登録の方

初めてマイページをご利用の方は[こちら](#)よりお願いします。

パスワードをお忘れの方

パスワードを忘れた方は[こちら](#)から再設定をお願いします。

メールアドレス登録 (初回のみ)

CUhub
CUhub
CUhub

マイページ利用者登録

マイページ利用者登録

中部大学インターネット出願のマイページに登録するメールアドレスを下記に入力してください。

メールアドレス 必須 (半角英数)

メールアドレス確認用 必須 (半角英数)

※このメールアドレスはマイページにログインする際に必要となります。
※上記のメールアドレスに利用者登録を完了させるメールを配信しますので、ドメイン指定受信を設定されている方は [@52school.com] を受信できるように事前に設定してください。

戻る 登録

パスワード登録 (初回のみ)

CUhub
CUhub
CUhub

パスワード設定

パスワード設定

のパスワードを入力してください。

パスワード 必須 (8文字以上の半角英数および記号)

パスワード確認用 必須 (8文字以上の半角英数および記号)

※このパスワードはマイページにログインする際に必要となります。

パスワードを設定

マイページメニュー

マイページでは、出願、受験票の発行、合否結果の閲覧、入学手続を行うことができます。以下STEP1~4の手順に従って手続を進めてください。

STEP1 ガイダンス閲覧・確認

出願方法や入学試験要項を確認し、事前に作成する書類、データを用意します。

STEP2 基本情報の登録と確認

住所・氏名・出身高等学校等の基本情報を登録してください。基本情報の登録は出願受付期間外でも可能です。

基本情報の登録完了後、証明写真（制服不可）をアップロードしてください。写真は入学後、学生証等の写真に使用します。アップロードする前にSTEP1で写真に必要な要件を確認してください。

STEP3 出願登録

画面の指示に従って、出願登録を進めてください。出願登録は各入試の出願期間内に行うことができます。出願期間は「2」入試日程に掲載しています。内容をよく確認した上で登録を進めてください。

STEP4 出願確認・受験票出力

出願確認や、受験票の出力ができます。この画面から出願確認票を出力し、必要書類を同封の上、郵送することで出願が完了します。

合否結果

合否結果を確認することができます。

入学手続

合格通知書、入学料・授業料等の振込用紙の出力ができます。入学手続書類もこちらから作成します。

The screenshot shows the CUhub My Page interface. At the top, there is a navigation bar with 'CUhub' and a menu icon. Below it, the 'マイページメニュー' (My Page Menu) is displayed. The menu is organized into four main steps, each with a title and a description of the action:

- STEP1 出願の手引き ★必ずお読みください!**: Includes a link for 'ガイダンス確認に進む' (Proceed to Guidance Confirmation).
- STEP2 基本情報の登録と確認**: Includes links for '個人情報の登録・編集と確認' (Proceed to Personal Information Registration) and '証明写真の登録・編集と確認' (Proceed to ID Photo Registration).
- STEP3 出願登録**: Includes a link for '出願登録に進む' (Proceed to Application Registration).
- STEP4 出願確認・受験票出力**: Includes a link for '出願確認・受験票出力する' (Proceed to Application Confirmation and Exam Ticket Output).

At the bottom of the page, there is a grid of utility links:

- 志望する学部学科の変更 (Change of desired faculty/course)
- 資料請求 (Request for materials)
- 合否結果 (Admission results)
- 入学手続 (Admission procedures)
- メールアドレス変更 (Change email address)
- パスワード変更 (Change password)

7.インターネット出願

本学ウェブサイトから「インターネット出願ガイド」に進み、出願に関する手順や注意事項を確認してください。確認後、「マイページ」へ進み、「CUhub」アカウントを作成します。マイページログイン後、以下の手順で出願登録をしてください。画面イメージは **6** CUhub マイページ で確認してください。

STEP2 基本情報を入力

氏名、住所、連絡先、高等学校等の基本情報、写真データを登録します。

STEP3 出願登録

入試方式、志願学科（専攻）、志願者情報、アンケート等を登録し、「コンビニエンスストア」、「Pay-easy〈ペイジー〉対応銀行ATM」、「クレジットカード」、「ネットバンキング」、「PayPay」いずれかの方法で入学検定料を支払います。

STEP4 出願確認票の出力

出願確認票・宛名ラベルをプリントアウトし、出願書類一式を封入し郵送します。封筒（市販の角2封筒）は各自で用意してください。

必要書類を不備なく、すべて郵送することで出願が完了します。入学検定料納入完了後、出願書類を印刷し、必ず郵送してください。

インターネット出願のよくある質問

入学検定料納入後に入力ミスに気付いた等、よくある質問については、以下インターネット出願ガイド「よくある質問」をご参照ください。
<https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu/faq/>



出願登録画面の操作に関するお問い合わせ先

「インターネット出願ガイド」や「よくある質問」への掲載がなく、解決しない場合は以下のサポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口 TEL (0120) 752-257

- 期間 出願期間中
- 時間 午前9時～午後8時

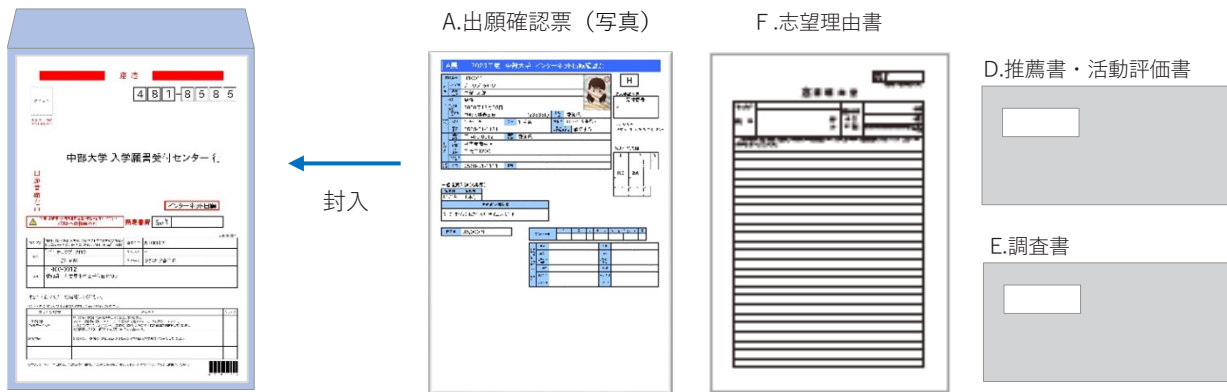
1.書類一覧

- A. 出願確認票（写真データ）
 - B. 宛名ラベル（A4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Aと同時に印刷。
 - C. 封筒（角2サイズ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 市販の角2封筒（各自で用意ください）。
 - D. 推薦書・活動評価書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 本学所定の様式を使用。校長印・記載責任者印を捺印の上、高等学校で発行（厳封）。活動評価書は、本人記入の上、記載責任者に提出し、推薦書とあわせて提出してください。
 - E. 調査書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 高等学校で発行。
出願期間初日から3か月以内の発行日付があること（厳封）。
 - F. 志望理由書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 本学所定の様式を使用。志望者本人入力または記入のもの。
- ※D・Fについて、本学ウェブサイト「入試情報>入学試験要項」よりダウンロードしてください。

<p>A.出願確認票（写真）</p> 	<p>B.宛名ラベル (Aと同時に印刷)</p> 	<p>C.封筒（角2サイズ）</p> 	<p>F.志望理由書</p> 
<p>D.推薦書・活動評価書</p> 	<p>E.調査書</p> 	<p>※図はイメージであり、実際のものとは異なる場合があります。</p>	

2. 書類を封入

「封筒 (C)」に「宛名ラベル (B)」をのり付けし、「出願確認票 (A)」「推薦書・活動評価書 (D)」「調査書 (E)」「志望理由書 (F)」を封入します。「出願確認票 (A)」は折り曲げて封入してもかまいません。



3. 郵送

8 出願上の注意 をよく読んだ上で、中部大学入学願書受付センターまで郵送 (速達・簡易書留) してください。

必要書類を不備なく、すべて郵送することで出願が完了します。入学検定料納入完了後、出願書類を印刷し、必ず郵送してください。

8. 出願上の注意

1. 入学検定料の他に、サービス利用料が一律 1,100 円かかります。
2. 入学検定料払込期限は、インターネット入力を行った翌日の 23 時 59 分 (出願期間の最終日は当日の 23 時 59 分) までです。払込期限を過ぎると、出願内容が取り消されますのでご注意ください。
3. 出願期間の最終日は、入学検定料払込みと郵送手続きの時間を考慮してインターネットによる出願登録を 17 時までとします。最終日に入学検定料払込みおよび出願書類の郵送をする場合は、郵便局での取扱時間を確認し、最終日当日の消印に間に合うように、余裕を持って支払い手続きを行ってください。
4. 締切時刻間際になりますとアクセスが集中し、登録できない状態になることもあります。時間に余裕を持ってお早めに出願登録を行ってください。
5. 出願書類に不備・不足等がある場合は受け付けません。出願に際しては十分注意してください。
6. 出願後の志望学科 (専攻) および入試方式 (入試日を含む) の変更は一切認めません。
7. いったん納入された入学検定料および出願書類等は、返還しません。ただし、入学検定料は事由によって返還する場合があります。詳細は 17 入学検定料の返還 を参照してください。
8. 出願書類に虚偽の記載があった場合、また、当然記載されるべき事項の記入がなかった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
9. 受験上の配慮を希望される場合は、各入試の出願に先立って、出願期間初日の 6 週間前までに、必ず中部大学入学センターへ相談してください。詳しくは、9 受験上の配慮申請について をご確認ください。なお、申請前に中部大学のキャンパス (設置場所、環境等) を見学されることをお勧めします。
10. 書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。電話番号 0568-22-7220、0568-22-7223、0568-22-7244 からの着信を見逃さないようにしてください。確認・連絡ができない場合、受験できない可能性があります。
11. 出願書類は、出願登録後可能な限り速やかに郵送してください。出願期間前日までに到着した出願書類は 11 月 1 日以降随時開封し、内容確認します (無効となりません)。
12. 本学では、可否結果は各学校の進学指導上重要な情報と考え、出身学校へ情報提供を行っています。各出身学校長には、「進学指導への活用」に限定した取り扱いをお願いしています。なお、可否結果の通知・情報提供を承諾しない方は、インターネット出願登録画面で登録を解除してください。通知承諾の可否は可否に一切関係しません。

9. 受験上の配慮申請について

病気・負傷や障がい等のために受験上の配慮を必要とする場合は、**出願期間初日の6週間前までに**事前申請を行ってください。複数入試の受験を希望する場合は、初回入試の申請期日までに申請してください。申請に間に合わない場合は、当該入試での配慮提供（支援）ができない場合がありますので、予めご承知おきください。申請内容に基づき、個々の症状や状態、程度に応じて受験上の配慮について検討しますが、場合により、事前面談をお願いすることや、ご希望に添えないこともあります。ただし、事前面談の要否や内容が合否に影響を与えることはありません。急な病気や怪我のため、受験に際し、配慮が必要となった場合はすみやかに本学入学センターまでご連絡ください。**修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。**

■申請の流れ

1. 電話による申し込み

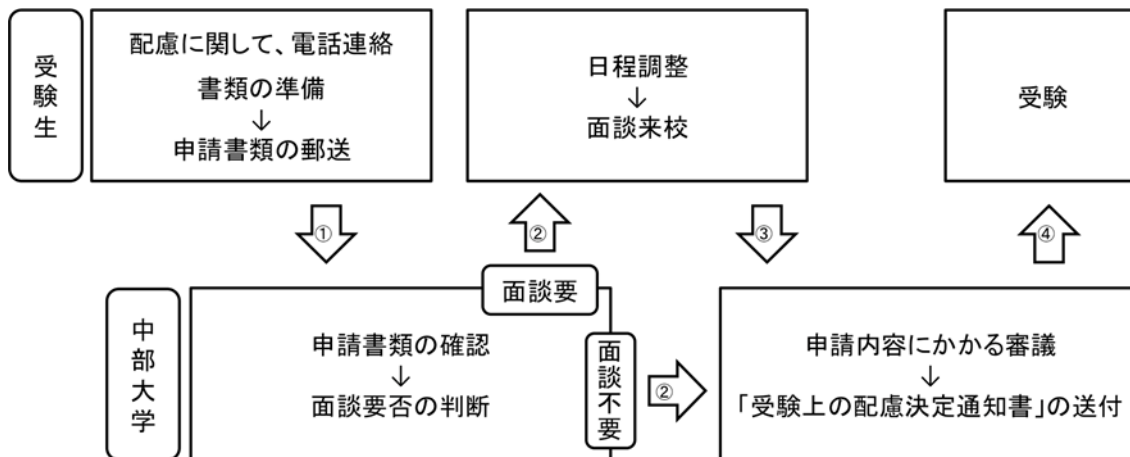
- ・ **出願期間初日の6週間前まで**に本学入学センターへ電話にてお問い合わせのうえ、申請書類を提出してください。
- ・ 必要に応じて、本学にお越しいただく場合があります。

2. 申請書類の提出

下記①～④の書類を本学入学センターへ提出してください。

- ①受験・修学上の配慮申請書（本学ウェブサイトからダウンロードし、必要事項を記入）
- ②医師の診断書のコピー（現在の体調および必要な措置に関する医師の見解について、具体的に示されたもの）
- ③大学入学共通テスト「受験上の配慮事項審査結果通知書」のコピー（該当者のみ）
- ④障害者手帳等の写し（該当者のみ）

【申請のフロー】



3. 配慮事項決定通知について

- ・ 提出された申請書類に基づき、本学で配慮事項を決定し、受験上の配慮決定通知書を送付いたします。入試当日は決定通知書を持参してください。
- ・ 決定に時間を要する場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

お問合せおよび申請書類の送付先

〒487-8501

愛知県春日井市松本町 1200

中部大学入学センター「受験上の配慮申請担当」宛

TEL. 0568-51-5541 ※受付時間 平日：午前9時～午後5時

修学上の配慮に関するお問い合わせ

修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。

中部大学 学生サポートセンター

TEL.0568-51-4478 ※受付時間 平日：午前9時～午後5時

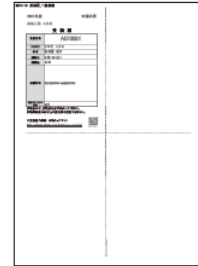
10. 受験票

受験票は「CUhub」マイページから「STEP4 出願確認・受験票出力」に進み、ダウンロード・プリントアウト（A4・モノクロ可）し、入試当日持参してください。受験票の郵送は行いません。なお、出願手続に不備があった場合は、その事後処理が終わるまで受験票の発行はできません。

発行開始日 2023年11月13日(月)午前9時

必ずA4で印刷してください（モノクロ可）。

※図はイメージであり、実際のものとは異なる場合があります。



受験票記載内容のお問い合わせについて

入試制度・志望学科（専攻）が出願時に入力したものと違う場合、至急中部大学入学センターに連絡してください。氏名の入力ミスは、入試当日「仮受験票交付所」に申し出てください。

※コンピュータ処理上表記できない文字（氏名等）は、常用漢字またはカタカナに置き換えます。受験には差し支えありません。

お問い合わせ先 入学センター TEL.0568-51-4715

受験票発行・操作に関するよくある質問

以下よりインターネット出願ガイダンスの「よくある質問」をご参照ください。
<https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu/faq/>



「CUhub」マイページの操作に関するお問い合わせ先

「インターネット出願ガイダンス」や「よくある質問」への掲載がなく、解決しない場合は以下のサポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口 TEL (0120) 752-257

○期間 出願期間中

○時間 午前9時～午後8時

11. 試験当日の注意

1. 持参するもの	<p>1. 受験票 プリントアウト（A4モノクロ可）したものを持参してください。紛失又は忘れた場合、「仮受験票交付所」に申し出て、仮受験票発行の手続きをしてください。試験室の入退室時には、受験票を携帯してください。詳細は「10.受験票」を参照してください。</p> <p>2. 筆記用具 HBの鉛筆、シャープペンシル、プラスチック消しゴム ※下敷き等の使用は認めません。</p> <p>3. 時計 時計以外の機能がついたものの使用は認めません。</p> <p>4. 昼食 昼食をとる場合は持参のうえ、自席でとってください。</p>
2. 試験室の入退室	<p>1. 試験室は8時30分に開場します。午後集合の方は11時45分以降に入室してください。</p> <p>2. 受験者は入試前日までに本学ウェブサイトにて試験室を確認してください。</p> <p>3. 携帯電話等の使用は認めません。試験室に入る前に電源を切り、カバンにしまってください。</p> <p>4. 机に示した受験番号を確認の上、集合時間までに指定の場所に着席してください。</p> <p>5. 試験開始後30分までの遅刻は認めます。ただし、そのための試験時間の延長はしません。また、30分以上の遅刻は欠席者とみなし受験できません。公共交通機関の遅延等による場合は、TEL.0568-51-1111（中部大学代表番号）に連絡し指示を受けてください。</p> <p>6. 試験時間中は、試験終了まで、途中退室を認めません。なお、試験中の発病又はトイレ等やむを得ない場合は、すぐに監督者に申し出てください。ただし、一時退室した分の試験時間の延長はしません。</p>
3. 試験時間中の注意	<p>1. 試験室では、受験票を机上の番号札の横に置き、監督者の指示に従ってください。</p> <p>2. 携帯電話等は試験室に入る前に電源を切り、カバンにしまってください。試験時間中、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ）、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器や、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すると不正行為となります。 ※ただし、使用が認められている場合を除く。イヤホンは装着していれば使用しているものとします。 不正行為を行った場合、当該年度全ての入試の成績を無効とします。また、納入済の入学検定料、入学料は返還いたしません。</p> <p>3. 解答用紙に、受験番号・氏名及び選択科目等を正しく記入してください。正しく記入されていない場合は、採点できないので注意してください。また、マークシートは汚したり、折り曲げたりしないでください。</p>
4. 受験上の配慮について	<p>病気・ケガ等で通常の試験室での受験に支障がある場合は、「9.受験上の配慮申請について」を確認してください。</p>
5. 受験できない者	<p>学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し、試験当日までに出席停止期間を経っていない場合は、他の受験者や監督者等に感染のおそれがあるため受験することができません。 ※該当者は、試験当日午前9時30分までに入学センターへ連絡してください。</p>
6. その他	<p>1. 荒天等による交通機関への影響に十分注意し、遅刻しないようにしてください。</p> <p>2. 災害等不測の事態が発生したことにより、入試の実施等に支障が生じた場合は、本学ウェブサイトでも周知しますので注意してください。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。</p>

入試における不正行為の取り扱いについて

中部大学では入試における公平性・公正性を確保するため、不正行為について厳正に対処します。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。

また、当該年度全ての入試において、成績を無効とします。

不正行為の範囲と対応の詳細は、以下ウェブサイトまたは右のQRコードよりご確認ください。

<https://www.chubu.ac.jp/admissions/entrance-exams/notice/>



12. 試験会場

中部大学 〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 TEL.0568-51-1111 (代表)

1. 試験室の詳細・集合場所は、各入試の前日までに本学ウェブサイトでお知らせします。
2. 受験生・付添者は、キャンパスプラザを控室として利用できます。

本学までの交通機関

1. JR 中央本線「神領」駅下車

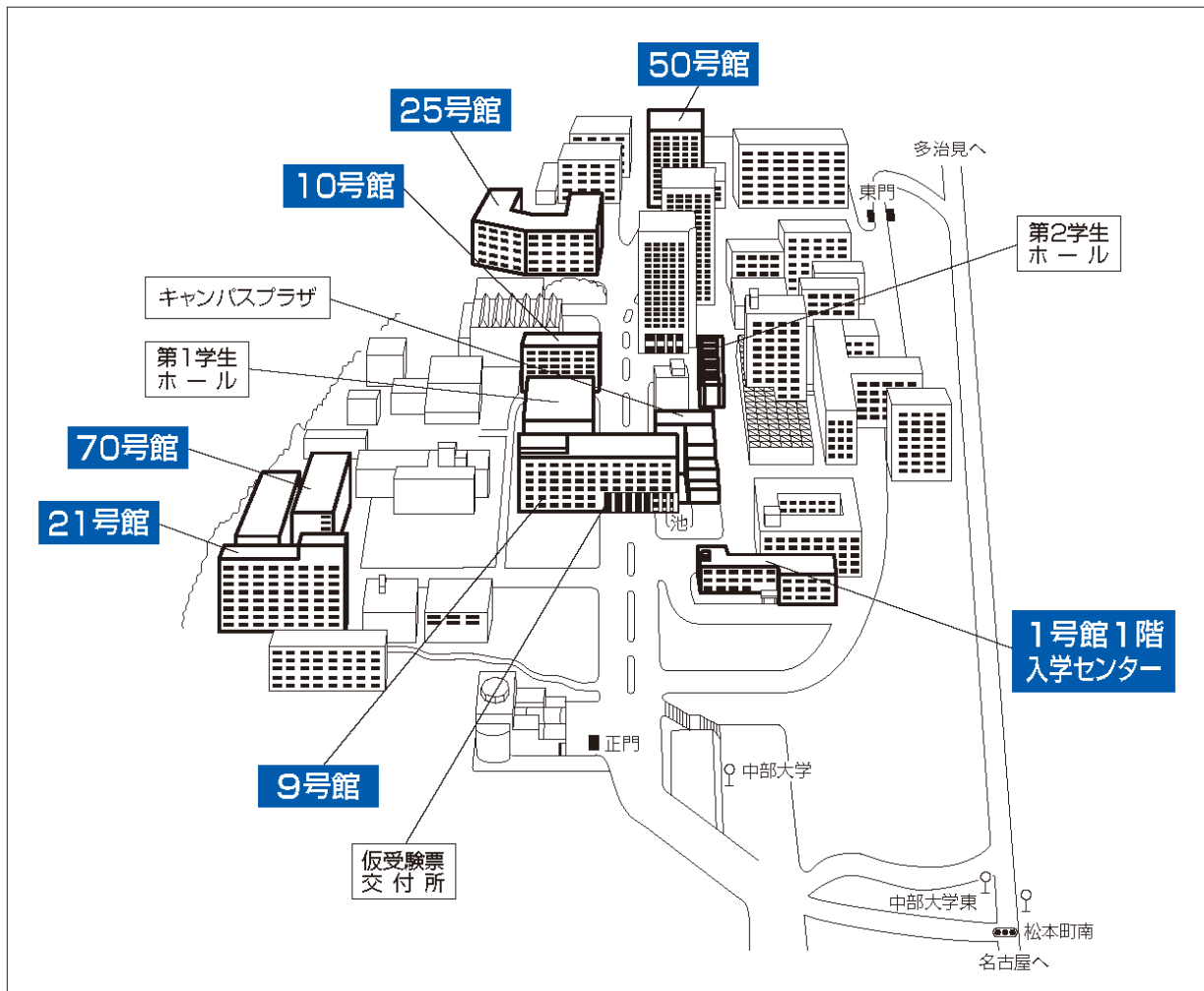
- ① 普通列車に乗りしてください。快速列車は停車しないので注意してください。
- ② 神領駅北口から名鉄バス中部大学線（片道 220 円）を利用してください。所要時間は約 10 分です。
なお、利用が集中する時間帯は適宜臨時便を追加して、約 10 分間隔で運行する予定です。

2. JR 中央本線「高蔵寺」駅下車

高蔵寺駅から名鉄バス「中部大学」行をご利用ください。発着数が少ないため、ご利用の際は時刻表を十分確認してください。

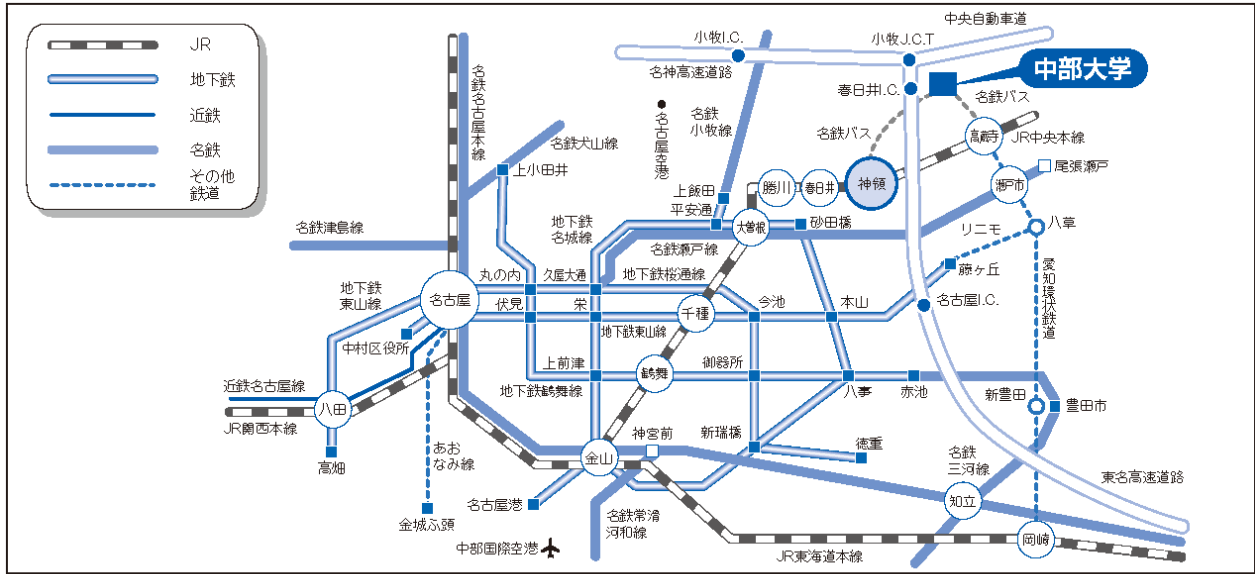
3. 自家用車

大学構内の駐車場が利用できますので正門から入場してください（入試当日大学構内は一方通行となります）。例年、路上駐車や近隣店舗への駐車が多く、周辺地域の方々から苦情が寄せられます。近隣の皆様への多大な迷惑となりますので、マナーを守ってご来校いただきますようお願い申し上げます。

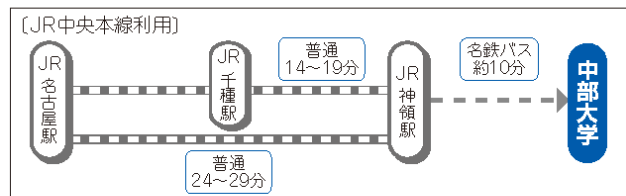
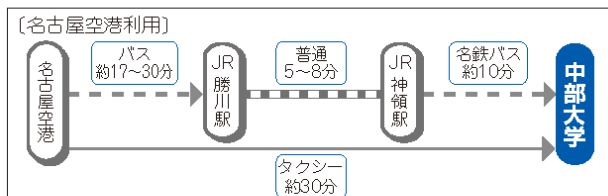


試験会場の下見について

試験会場の下見は入試前日の午後に行ってください。ただし、入試実施日には下見できませんので、連続した入試日程初日の前日午後に確認してください。なお、試験室には入れません。建物の外観確認に留めてください。



主要交通所要時間



13.合格発表

合否発表日の午前 11 時から「CUhub」で合否結果を発表します。「CUhub」マイページにログインし、「合否結果」から確認してください。

合否発表日時

2023 年 12 月 1 日(金) 午前 11 時

注意事項

1. 電話やメール等による合否のお問い合わせには一切応じません。
2. 合否に関する通知書の送付は行いません。合格通知書が必要な方は「CUhub」マイページより「入学手続」に進み、ダウンロードしてください。
3. サービス開始直後はアクセスが多くなりがちで状態が予想されます。その場合はしばらく時間をおいてからアクセスしてください。
4. 「CUhub」合否結果の「誤操作」「見間違い」等を理由とした手続締切日後の入学手続は認めません。

合格された方へ

今年度の本学入試で、すでに合格と判定された方でも、特別奨学生入試または一般選抜（前期入試等）に出願することができます（専願入試の合格者は同一の学科・専攻に限る）。また、各入試の出願期間初日までに、今年度の本学入試を受験した方（受験票を持っている方※）は、同一の CUhub アカウントから出願した場合、入学検定料を 5,000 円割引します。なお、特別奨学生または選抜奨学生として合格した場合、期日までに納められた入学金（入学後）・学費等（申請後）を返還します。詳細は特別奨学生入試・一般選抜の入学試験要項を確認してください。※特別選抜入試・編入学試験・大学院入試・共通テスト利用入試を除く。

入学前ガイダンスの開催について

中部大学では、ポートフォリオ入試、同窓生推薦入試、学校推薦型選抜（一般推薦入試、特技推薦入試、指定校推薦入試、併設校推薦入試）で合格し、入学を予定されている方を対象に「入学前ガイダンス」を開催します。このガイダンスは、高校生から大学生へスムーズに移行できるよう支援するためのものです。

入学前ガイダンス

日程 2023 年 12 月 10 日(日)（予定）

場所 中部大学春日井キャンパス

※詳細については、合格者に別途お知らせします。

14.入学手続

1. 入学手続は「CUhub」の「入学手続」から行います。入学手続に関する書類等の送付はありませんので、各手続の期限にご注意ください。詳細は、本学ウェブサイトに掲載の入学手続要項で確認してください。
2. 入学手続期限は締切日必着です。期限を過ぎたものについては一切受理しません。期限までに手続を完了しない場合、入学許可はその効力を失います。
3. いったん納入された入学金および入学手続書類等は、返還しません。
4. 入学手続要項の確認不足等を理由とした手続締切日後の入学手続は認めません。

入学手続期限（必着）

入学金の納入期限	学費等の納入期限	書類の提出期限
2023年12月15日(金)	2024年1月9日(火)	2024年3月8日(金)

入学辞退者への学費等の返還について（B：併願 合格者のみ）

学費等を納入した者で入学を辞退する場合には、入学金を除く学費（授業料・施設設備費・教育充実費）、委託徴収会費等を返還します。返金額は返還事務手数料（500 円）を除いた金額となります。返還手続は「CUhub」マイページの「入学手続」から行ってください。

国の教育ローンについて

入学金、学費、教科書代、アパートの敷金・家賃など、入学時や在学中に必要な資金を融資する公的な制度として、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」があります。詳しくは、「国の教育ローン」ウェブサイトをご確認ください。

15.2024 年度入学者学費等

学費等は春学期・秋学期の2回に分けて納入します。なお、保険料は改定される場合があります。詳しくは入学手続要項で確認してください。

(単位：円)

	工学部		経営情報学部		国際関係学部 人文学部		応用生物学部		現代教育学部		理工学部	
	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期
入学料	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000		280,000	
授業料	465,000	465,000	365,000	365,000	385,000	385,000	465,000	465,000	360,000	360,000	465,000	465,000
施設設備費	130,000	130,000	110,000	110,000	110,000	110,000	130,000	130,000	110,000	110,000	130,000	130,000
教育充実費	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
後援会費 ※1	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
学生教育研究災害傷害保険料 ※1	3,300		3,300		3,300		3,300		3,300		3,300	
学生教育研究賠償責任保険料 ※1									1,360			
計	1,003,300	670,000	883,300	550,000	903,300	570,000	1,003,300	670,000	879,660	545,000	1,003,300	670,000
1年次	1,673,300		1,433,300		1,473,300		1,673,300		1,424,660		1,673,300	
2年次	1,360,000		1,120,000		1,160,000		1,360,000		1,150,000		1,360,000	
3年次	1,380,000		1,140,000		1,180,000		1,380,000 1,440,000 ※2		1,170,000		1,380,000	
4年次	1,400,000		1,160,000		1,200,000		1,400,000		1,190,000		1,400,000	

※1 委託徴収会費等 ※2 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

(単位：円)

	生命健康科学部											
	生命医科学科		保健看護学科		理学療法学科		作業療法学科		臨床工学科		スポーツ保健医療学科	
	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期
入学料	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000		280,000	
授業料	495,000	495,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	465,000	465,000	440,000	440,000
施設設備費	175,000	175,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	130,000	130,000	130,000	130,000
教育充実費	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
修学諸費	40,000	40,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000		
後援会費 ※1	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
学生教育研究災害傷害保険料 ※1	3,370		3,300		3,300		3,370		3,370		3,300	
医学生教育研究賠償責任保険料 ※1	2,000		2,000		2,000		2,000		2,000			
計	1,120,370	785,000	1,045,300	710,000	1,045,300	710,000	1,045,370	710,000	1,020,370	685,000	978,300	645,000
1年次	1,905,370		1,755,300		1,755,300		1,755,370		1,705,370		1,623,300	
2年次	1,710,000		1,560,000		1,510,000		1,510,000		1,460,000		1,410,000	
3年次	1,730,000		1,580,000		1,530,000		1,530,000		1,480,000		1,430,000	
4年次	1,750,000		1,600,000		1,600,000		1,600,000		1,550,000		1,450,000	

※1 委託徴収会費等

入学料・後援会費・学生教育研究災害傷害保険料・医学生教育研究賠償責任保険料・学生教育研究賠償責任保険料は入学時のみ。

授業料・施設設備費	2年目以降年額各10,000円増額
教育充実費	2年目以降同額
修学諸費	2年目以降、生命医科学科は年額200,000円、保健看護学科は年額150,000円、 理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科は年額100,000円（ただし4年目150,000円）、スポーツ保健医療学科は年額100,000円、 現代教育学部は年額40,000円 3年目のみ、食品栄養科学科 管理栄養科学専攻は、年額60,000円

16. アドミッション・ポリシー

一般推薦入試では、下記の (1)、(2)、(5)、(6) を重視し、書類審査、小論文、適性検査、面接等によって選抜します。

工学部 機械工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 機械工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、機械工学技術領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学に関して、図形と方程式、指数関数、対数関数、三角関数、ベクトル、微分法・積分法を利活用できること。
- ・物理に関して、平面内の運動と剛体のつり合い、運動量、円運動と単振動を利活用できること。

工学部 都市建設工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 都市建設工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、地域のデザインを通して地球環境の保全、人間社会の持続可能な発展、災害対策に関わる領域で社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、物理、英語、国語の教科書を再度復習し理解を深めること。
- ・数学では、特に三角関数、指数・対数関数、微分、積分など。
- ・物理では、特に力のつりあい、物体の運動とエネルギーなど。
- ・英語では、文法、読解、会話など。
- ・国語では、文章作成、文章読解など。

工学部 建築学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 建築学とともに人間・社会・芸術に強い関心と高い学習意欲をもち、建築設計・計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産、建築史、都市計画に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、理科、国語、英語の教科書を再度復習し総合力を高めること。
- ・社会、芸術、保健体育、家庭、情報各教科の学習意義を改めて理解するとともに、幅広く興味・関心を持つ習慣を身につけること。

工学部 応用化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 化学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、化学計測、無機・有機およびナノ複合材料、エネルギー、環境などの領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学、数学、英語の教科書を再度復習し理解を深めること。
- ・化学では特に原子の構造、化学結合、物質質量、化学反応式、濃度、酸塩基、酸化還元など。
- ・数学では特に指数・対数関数、微分、積分など。

工学部 情報工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) コンピュータの仕組みや応用に強い関心と高い学習意欲をもち、高度情報化社会において情報科学、ソフトウェア、情報通信、ハードウェアに関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、物理、英語の教科書を復習し理解を深めること。
- ・数学では三角関数、指数・対数関数、微分、積分、複素数、ベクトルなど。
- ・物理では電気と磁気、物体の運動とエネルギーなど。
- ・日本語（読み書き）がきちんとできること。
- ・ITパスポート試験に挑戦してみることが望ましい。

工学部 電気電子システム工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」等の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 電気電子システム工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、電力・設備、電機・計測制御、材料・デバイス、通信・システムに関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学については、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分、複素数、ベクトル等を理解して利用できることが望ましい。
- ・理科のうち、特に物理の力学（物体の運動、力のつり合い、運動量、単振動、エネルギーなど）および電磁気（静電気力、電界、電気力線、電位、コンデンサ、静電エネルギー、電流、磁場、電磁力、電磁誘導など）等を理解して利用できることが望ましい。

経営情報学部 経営総合学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 経営学と情報学を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 企業経営と情報に強い関心と高い学習意欲をもち、経営者や会社のキーパーソンとして活躍しようとする意欲がある。または、情報システムの知識・技術に関わる領域や会計専門職や会計の知識に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校の授業科目のうち、特に英語、数学、国語、地歴・公民の学習内容を十分に習得していることが求められる。これらは全て大学における学修の基礎となるものである。また、経営・経済分野については、新聞やニュースに関心をもち、知識だけでなく、自分の意見を言えるようにしておくことが望ましい。

国際関係学部 国際学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 国際関係や他文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 世界各国・地域の人々の生活や社会制度、英語や中国語などの外国語、国際関係に強い関心と世界の動きを多面的に理解する学習意欲をもち、積極的に他者とコミュニケーションを図り、多文化共生社会や国際政治・国際経済・国際協力に関わる分野で社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語・社会・英語についての基礎学力を有し、政治経済や倫理社会などにも意欲をもって取り組んでおくことが望ましい。
- ・外国語の運用能力（実用英語技能検定準2級程度、中国語検定4級、漢語水平考試（HSK）3級、ハングル検定4級相当など）を備え、さらに高めることに意欲的であることが望ましい。

人文学部 日本語日本文化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 日本語・日本文学・日本文化をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 日本語・日本文学・日本文化をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、日本の言語や文化に関する深い知識と理解力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・日本語・日本文学について学ぶための基礎学力として、高等学校における「国語総合」「国語表現」「現代文」の学習が強く望まれる。
- ・日本文化について学ぶための基礎学力として、高等学校における「日本史」「世界史」の学習が強く望まれる。
- ・知識の応用力・論理的思考力を身につけるために、読書を習慣化することが望まれる。

人文学部 英語英米文化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 英語圏の言語・文化をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 英語圏の言語・文化をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、本格的な英語運用能力と異文化理解力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校までの英語学習をしっかりと理解していることが望まれる。
- ・英語だけでなく、他教科においても、幅広い基礎学力を有していることが望まれる。
- ・英語を積極的に使おうとする意欲があることが望まれる。
- ・英語圏の文化に対する強い関心があることが望まれる。
- ・円滑で、より豊かな対人コミュニケーション能力を身につけようという意欲や向上心があることが望まれる。
- ・大学における英語の発展的学習の基礎となる英語運用能力（実用英語技能検定（英検）準2級以上あるいは同等の英語力）を備えていることが望まれる。

人文学部 心理学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 人の「こころ」をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 人の「こころ」をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、「こころ」に関する問題を論理的に解明し、表現する力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・調査や実験等で得られたデータを統計的に分析するための数学的能力、論理的能力を身につけていることが望まれる。
- ・結果を読み取り、理解し、筋道たてて記述するための国語力を身につけていることが望まれる。
- ・海外の文献を読むための英語力を身につけていることが望まれる。

人文学部 歴史地理学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 歴史や地理をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 歴史や地理をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、歴史学・地理学の専門知識と研究方法を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語、英語、社会の教科書を復習し、内容の理解を深めておくことが望まれる。
- ・国語では、語彙を増やし、古典・漢文も復習することが望まれる。
- ・英語では、基本的な文法を復習・習得し、単語・熟語の語彙を増やしておくことが望まれる。
- ・社会では、特に地理あるいは歴史の教科書の基本知識を十分に理解しておくことが必要である。
- ・地理あるいは歴史について自分の興味ある内容を積極的に説明できることが望まれる。

人文学部 メディア情報社会学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) メディア情報・地域社会をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) メディア情報・地域社会をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、高度なキュレーションスキルとクリエイションセンスを活かすことのできる領域を通して、末長く社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・メディアの社会への影響を考えるために必要となる幅広い基礎学力を身につけておくことが望まれる。
- ・筋道の立った文章を書くための文章力を身につけておくことが望まれる。
- ・他者に自分の考えを表明できるコミュニケーション能力を身につけておくことが望まれる。
- ・社会の中の出来事に関心をもつ姿勢を身につけておくことが望まれる。
- ・インターネット上の情報の真偽について考える習慣を身につけておくことが望まれる。

応用生物学部 応用生物化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 植物、動物、微生物のバイオサイエンスとバイオテクノロジー分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 植物、動物、微生物のバイオサイエンスとバイオテクノロジーに強い関心と高い学習意欲をもち、医療や医薬品・食品などのバイオサイエンスとバイオテクノロジー分野に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学、生物、数学の教科書を再度復習し、理解を深める。
- ・化学では特に化学結合、原子量・モル・化学反応式、酸と塩基、酸化還元。
- ・数学では特に指数・対数関数、確率統計。
- ・国語の学習によって、筋道の通った文章が書けることが望まれる。

応用生物学部 環境生物科学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) バイオサイエンスおよびバイオテクノロジーを応用した「環境生物学（生態系における個体の生物学）」に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) バイオサイエンスおよびバイオテクノロジーを応用した環境生物学に強い関心と高い学習意欲をもち、環境評価や環境問題の解決に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学について、教科書レベルの基礎知識を習得しておく必要がある。
- ・環境、生物に関連する自然科学分野の文章読解力、作文能力を身につけておく必要がある。
- ・PCを用いたレポート作成法を取得しておく必要がある。

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 「食」や「栄養」の分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 「食」や「栄養」に強い関心と高い学習意欲をもち、食品科学と栄養科学に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学、生物、英語の教科書を再度復習し理解を深める。
- ・化学では特に化学結合、原子量・モル・化学反応式、酸と塩基、酸化還元。
- ・生物では特に細胞と人体組織、生体構成成分、代謝、遺伝子とDNA、遺伝子発現。
- ・国語では論理的な文章を書けるようにすることが望まれる。
- ・英語についても基礎を復習し理解を深める。

応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 「食」と「健康」の分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 「食」と「健康」に強い関心と高い学習意欲をもち、国家資格としての管理栄養士に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・管理栄養士の職能について十分理解しておくことが必要。
- ・化学基礎、生物基礎の教科書を再度復習し理解を深めておくことが必要。

生命健康科学部 生命医科学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 病気予防や健康の維持増進の分野を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 病気予防や健康の維持増進に対して強い関心と病気や健康不安の仕組みに学習意欲をもち、臨床検査、または薬物・資材・機器・医療技術の開発・研究および販売等を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・生物、化学、物理の教科書を再度復習し理解を深めることが望まれる。
- ・生物では特に細胞、代謝、遺伝子、体内環境などの理解が必要となる。
- ・化学では溶液の濃度、物理では原子、力学、電磁気などの理解が特に必要となる。

生命健康科学部 保健看護学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) ひとの尊厳と権利、ひとの暮らしと健康の分野を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) ひとの尊厳と権利、ひとの暮らしと健康に強い関心と高い学習意欲をもち、看護の専門職として他職種と協働し社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・人体のしくみを理解するうえで必要な生物・化学の基礎を身につけることが望まれる。
- ・人の健康と生活に関わる保健・家庭等の科目の内容の理解も必要となる。
- ・筋道の立った文章表現ができる国語力の獲得が望まれる。
- ・看護実践をするうえで必要となる数学の基礎の習得も望まれる。
- ・対象・場面に即した言葉遣いと基本的な礼儀・マナーの習得が望まれる。

生命健康科学部 理学療法学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 医学・生命科学、理学療法を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 医学・生命科学、理学療法に強い関心と高い学習意欲をもち、理学療法に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校の教育内容（国語、生物・化学・物理の基礎、数学の基礎など）を幅広く理解し、日常的な自己学習の習慣を身に付けることが望まれる。
- ・自分の考えを伝えるための表現力・他者とのコミュニケーションをとる積極性が望まれる。

生命健康科学部 作業療法学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 身体・精神の両面にわたるリハビリテーションを学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 身体・精神の両面にわたるリハビリテーションに強い関心と高い学習意欲をもち、作業療法士に関わる領域で社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語、生物、数学・物理、家庭、保健体育の以下の内容を再度復習し理解を深めることが望まれる。
- ・国語では、論理的な筋道の立った文章が書けることが必要となる。
- ・生物では、人のからだの仕組みや構造について学んでいることが必要となる。
- ・数学・物理では、三角関数や物体の運動とエネルギーを学んでいることが必要である。
- ・家庭では、自立した生活者に必要な衣食住や消費生活・環境に関する知識・技能、親の役割と子育て支援に関する知識・技能、高齢者の尊厳と介護、生活支援に関する知識・技能を理解していることが必要である。
- ・保健体育では、健康の保持増進や疾病予防に必要な知識・技能を理解していることが必要となる。

生命健康科学部 臨床工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学と医学が重なる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 工学と医学が重なる領域に強い関心と高い学習意欲をもち、臨床工学技士に関わる領域で社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高校で勉強する数学、物理（物理基礎）、化学（化学基礎）、生物（生物基礎）をきちんと理解していることが望まれる。
- ・臨床工学技士の役割や職能などについて自ら調べ、理解することが望まれる。

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) スポーツや保健医療（医学）が重なる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) スポーツや保健医療（医学）に強い関心と高い学習意欲をもち、スポーツ医学を国民の生活の質（QOL）の向上に役立てる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・生物（生物基礎）、数学、国語、保健分野の知識、さらに、主語と述語の関係が明確な筋道の通った文章が書けることが望まれる。

現代教育学部 幼児教育学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 乳幼児の保育・教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 乳幼児の保育・教育に強い関心と高い学習意欲をもち、幼稚園教諭・保育士・保育教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・コミュニケーション力や論理的な思考力、表現力を発揮するために、国語の基礎的な内容を習得していることが望まれる。
- ・子どもの表現活動を学ぶために、音楽・美術・保健体育に関する基礎的な知識や技能を有していることが望まれる。

現代教育学部 現代教育学科 現代教育専攻

本専攻は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 児童生徒の教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 児童生徒の教育に強い関心と高い学習意欲をもち、小学校教諭・中学校理科教諭・特別支援学校教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校の全教科（実技教科を含む）の内容を十分理解できていることが大切である。教科書の内容を十分に復習することが望まれる。また、日本語検定 3 級、数学検定 3 級、実用英語技能検定準 2 級程度の学力を有することが望まれる。実際に受検し挑戦することが望ましい。

現代教育学部 現代教育学科 中等教育国語数学専攻

本専攻は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 中学校教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 中学校教育に強い関心と高い学習意欲をもち、中学校国語教諭および中学校数学教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語志望者は、高校古典（古文・漢文）の総復習と、国語教科書「読書案内」に紹介の本を読むこと。数学志望者は、高校数学（数 I ～ III、AB）の総復習。また、日本語検定 2 級、数学検定 2 級・準 1 級合格を目指した学習を進めることが望まれる。

理工学部 数理・物理サイエンス学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 理学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 数学および物理学をはじめ科学技術全般に関心と高い学習意欲を持ち、数学およびデータサイエンス等の応用分野を含めた数理科学、物理学および物質科学や宇宙・地球科学等の応用分野を含めた物理科学に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲を有している。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、理科（物理・化学）、国語、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では特に指数・対数関数、三角関数、微分・積分、図形の性質、場合の数と確率、数列、ベクトルなど。
- ・物理では様々な運動とエネルギー、波、電気と磁気、原子など。
- ・化学では物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質、有機化合物の性質など。

理工学部 A | ロボティクス学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) ロボット理工学とともに、ものづくりに強い関心と高い学習意欲をもち、機械、電気、電子、情報工学などに関わるロボット製作や工学デザイン領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、理科（物理・化学）、国語、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では特に指数・対数関数、三角関数、微分・積分、図形の性質、場合の数と確率、数列、ベクトルなど。
- ・物理では様々な運動とエネルギー、波、電気と磁気、原子など。
- ・化学では物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質、有機化合物の性質など。

理工学部 宇宙航空学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 宇宙航空学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、制御理論や流体力学、材料力学などに関わる航空機製造や宇宙に関係する領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、物理、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では数と式、統計・データの分析、二次関数、三角関数、微分・積分、指数・対数、複素数、ベクトルなど。
- ・物理では物体の運動とエネルギー、力の釣り合い、気体の状態変化、電気・磁気など。

17.入学検定料の返還

下記「1.入学検定料返還請求事由」に該当し、かつ下記「4.返還請求方法」に則り請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。なお、入学検定料の返還には、請求締切以後、1～2ヵ月程度かかります。

1. 入学検定料返還請求事由

1. 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
2. 出願資格を欠く者が出願した場合
3. 出願締切日後に出願した場合
4. 納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合
5. その他

※出願書類提出後、受験を取りやめる、または試験当日欠席した場合は対象となりません。

2. 返還請求受付締切日

下記締切日までに申請してください (必着)。

2023年11月7日(火)

3. 事務手数料

入学検定料返還事務手数料として、整理番号1件につき500円徴収します。返金額は事務手数料を除いた金額となります。

4. 返還請求方法 (郵送に限ります)

下記を封入し、宛先左側に「入学検定料返還申請書在中」と朱書きの上、郵送してください。

宛先：〒487-8501 春日井市松本町1200 中部大学入学センター事務部 入試事務課

- (1) 入学検定料返還申請書 (本学ウェブサイトから指定様式をダウンロード)
黒ボールペンで必要事項を記入してください。
- (2) 返還請求事由が5.その他 の場合、診断書などその事実を証明する書類を添付してください (該当者のみ)。

5. 返還手続上の注意

1. 請求締切日までに必要書類が提出出来ない場合、提出書類の記載内容に不備・誤りがある場合は、請求を受理しません。
なお、訂正は二重線で行い、訂正印を押印してください。
2. 入学検定料返還先口座の名義は、志願者本人または保護者としてください。

18.入試における学力の3要素

入試における選抜方法と学力の3要素の関連性は以下のとおりです。

		強い ←————→ 弱い		
入試	選抜方法	学力の3要素		
		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
一般推薦入試	適性検査			
	面接 (調査書・志望理由書含む)			
	小論文			
	活動評価 (資格・実績等)			

諸事情により出願確認票が印刷できない方は以下の手順で進めてください。

1. パソコン画面で出願確認票を表示させ、下の志願受付確認票(送付用)に「登録日」「整理番号」「氏名(漢字・カナ)」「生年月日」「住所」を転記する(このページを切り取ってご使用ください)。
2. 入学検定料について、コンビニエンスストア・ネットバンキング(ペイジー含む)で支払う場合は、必要となる番号を正確にメモし、利用してください。
3. 「7.インターネット出願」を参照して出願書類を準備し、角2サイズの封筒に下記住所を手書きした上で志願受付確認票(送付用)と出願書類(調査書等)を同封して郵送(速達・簡易書留)してください。

出願書類宛先

〒481-8585
中部大学 入学願書受付センター

出願確認票が印刷できない方は、以下の記入欄に必要事項を記入してください。

記入後、このページを切り離し、出願書類一式とともに角2サイズの封筒で上記の出願書類宛先へ郵送(速達・簡易書留)してください。

登 録 日	年 月 日
整 理 番 号	
氏 名 (漢 字)	
氏 名 (カ ナ)	
生 年 月 日	年 月 日
住 所	□□□□-□□□□□□



中部大学

〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 番地 ☎0120-873941
ウェブサイト <https://www.chubu.ac.jp/> E-mail koho@office.chubu.ac.jp

中部大学は、よりよい環境対策をめざし、エコキャンパスとして、大学全体で取り組んでいます。